

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、県民の身体の状況、栄養素等摂取量、生活習慣及び食習慣の状況を明らかにし、県民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の対象

調査の対象は、県内の世帯及び世帯員とし、平成 26 年 11 月 1 日現在で満 1 歳以上の者とした。

調査客体は、平成 25 年国民生活基礎調査において県内で設定された単位区から、保健所管区を層とした層化無作為抽出（クラスター抽出）した 16 単位区と、平成 26 年国民健康・栄養調査の対象として抽出された 2 単位区を合わせた 18 単位区内の 465 世帯及びその世帯員（約 1,130 人）とした。

調査の協力が得られた世帯数は、259 世帯、世帯員は 606 人である。それぞれの調査の集計客体数を表 1、地区別対象者数を表 2 に示す。（次項参照）

### 3. 調査項目

本調査は、身体状況調査（血液検査を含む）、栄養摂取状況調査、生活習慣調査、食習慣調査からなり、調査項目及び対象項目及び対象年齢は以下のとおりとした。

#### （1）身体状況調査票

- ア 身長（満 1 歳以上）
- イ 体重（満 1 歳以上）
- ウ 腹囲（満 6 歳以上）
- エ 血圧：収縮期（最高）血圧、拡張期（最低）血圧（満 20 歳以上）[2 回測定]
- オ 血液検査（満 20 歳以上）
- カ 問診（満 20 歳以上）
  - ①血圧を下げる薬
  - ②脈の乱れを治す薬
  - ③インスリン注射または血糖を下げる薬
  - ④コレステロールを下げる薬
  - ⑤中性脂肪（トリグリセライド）を下げる薬
  - ⑥貧血治療のための薬（鉄剤）
  - ⑦糖尿病といわれたことの有無
  - ⑧糖尿病治療の有無
  - ⑨医師からの運動禁止の有無
  - ⑩運動習慣：1 週間の運動日数、運動を行う日の平均運動時間、運動の継続年数

表1 集計客体数

男女計	栄養摂取状況調査*1		歩数測定		身体状況調査		血液検査*2		生活習慣調査		食習慣調査	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1-6歳	31 ( 1 )	5.1	-	-	20	3.5	-	-	-	-	-	-
7-14歳	28 ( 4 )	4.6	-	-	25	4.4	-	-	-	-	-	-
15-19歳	23 ( 5 )	3.8	-	-	20	3.5	-	-	23	3.8	23	3.8
20-29歳	43 ( 7 )	7.1	39 ( 7 )	8.5	40	7.1	6	4.1	53	8.7	54	8.8
30-39歳	68 ( 5 )	11.2	55 ( 4 )	11.9	68	12.0	26	17.8	73	12.0	74	12.1
40-49歳	75 ( 11 )	12.4	64 ( 7 )	13.9	69	12.2	25	17.1	83	13.6	83	13.6
50-59歳	93 ( 24 )	15.3	92 ( 22 )	20.0	103	18.2	31	21.2	113	18.5	112	18.3
60-69歳	111 ( 28 )	18.3	109 ( 22 )	23.6	102	18.0	33	22.6	121	19.8	123	20.1
70歳以上	134 ( 32 )	22.1	100 ( 22 )	21.7	119	21.0	25	17.1	144	23.6	142	23.2
総数	606 ( 117 )	100.0	461 ( 84 )	99.6	566	100.0	146	100.0	610	100.0	611	100.0

男性	栄養摂取状況調査		歩数測定		身体状況調査		血液検査		生活習慣調査		食習慣調査	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1-6歳	16 ( 1 )	5.5	-	-	11	3.9	-	-	-	-	-	-
7-14歳	12 ( 1 )	4.1	-	-	12	4.3	-	-	-	-	-	-
15-19歳	16 ( 5 )	5.5	-	-	15	5.4	-	-	16	5.5	16	5.5
20-29歳	22 ( 6 )	7.6	19 ( 6 )	8.7	22	7.9	4	5.9	26	8.9	27	9.2
30-39歳	34 ( 4 )	11.7	28 ( 3 )	12.8	35	12.5	14	20.6	36	12.3	37	12.7
40-49歳	34 ( 4 )	11.7	27 ( 2 )	12.4	31	11.1	10	14.7	39	13.4	40	13.7
50-59歳	39 ( 10 )	13.4	38 ( 8 )	17.4	45	16.1	13	19.1	48	16.4	47	16.1
60-69歳	54 ( 15 )	18.6	55 ( 11 )	25.2	51	18.3	15	22.1	60	20.5	60	20.5
70歳以上	63 ( 15 )	21.7	51 ( 10 )	23.4	57	20.4	12	17.6	67	22.9	65	22.3
総数	290 ( 61 )	100.0	218 ( 40 )	100.0	279	100.0	68	100.0	292	100.0	292	100.0

女性	栄養摂取状況調査		歩数測定		身体状況調査		血液検査		生活習慣調査		食習慣調査	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1-6歳	15 ( 0 )	4.7	-	-	9	3.1	-	-	-	-	-	-
7-14歳	16 ( 3 )	5.1	-	-	13	4.5	-	-	-	-	-	-
15-19歳	7 ( 0 )	2.2	-	-	5	1.7	-	-	7	2.2	7	2.2
20-29歳	21 ( 1 )	6.6	20 ( 1 )	8.2	18	6.3	2	2.6	27	8.5	27	8.5
30-39歳	34 ( 1 )	10.8	27 ( 1 )	11.1	33	11.5	12	15.4	37	11.6	37	11.6
40-49歳	41 ( 7 )	13.0	37 ( 5 )	15.2	38	13.2	15	19.2	44	13.8	43	13.5
50-59歳	54 ( 14 )	17.1	54 ( 14 )	22.2	58	20.2	18	23.1	65	20.4	65	20.4
60-69歳	57 ( 13 )	18.0	54 ( 11 )	22.2	51	17.8	18	23.1	61	19.2	63	19.7
70歳以上	71 ( 17 )	22.5	50 ( 12 )	20.6	62	21.6	13	16.7	77	24.2	77	24.1
総数	316 ( 56 )	100.0	243 ( 44 )	99.6	287	100.0	78	100.0	318	100.0	319	100.0

\*1 栄養摂取状況調査は食物摂取状況調査に回答した世帯数及び人数

\*2 血液検査の人数は、SRLの検査対象者132名に加え、血液検査結果を持参した対象者14名を追加した人数

\*3 ( )は複数日調査人数

表2-1 地区別対象数

地区番号	対象世帯数*1	栄養摂取状況調査					歩数測定*5			身体状況調査*5			血液検査*5*6		
		世帯数(世帯状況)*2	世帯数(食物摂取状況)*3	人数*4(男女計)	人数*4(男性)	人数*4(女性)	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
1	38	12	12	27	14	13	16	7	9	29	15	14	2	2	0
2	28	16	15	39	21	18	26	14	12	35	19	16	21	11	10
3	20	12	12	32	17	15	23	12	11	25	14	11			
4	27	8	8	12	5	7	10	4	6	9	4	5	8	3	5
5	27	10	8	22	11	11	14	7	7	16	8	8	8	4	4
6	28	18	17	44	17	27	31	11	20	37	16	21			
7	19	13	13	32	14	18	25	10	15	31	14	17	13	7	6
8	21	18	14	37	17	20	35	18	17	44	21	23	14	4	10
9	26	22	19	41	21	20	45	23	22	48	24	24			
10	20	15	12	31	15	16	21	9	12	35	17	18	17	7	10
11	25	18	18	40	19	21	32	17	15	26	13	13			
12	35	10	8	22	10	12	12	5	7	16	7	9	9	4	5
13	27	8	7	13	5	8	11	4	7	7	3	4			
14	28	14	14	33	15	18	29	14	15	18	9	9	18	9	9
15	28	16	16	43	21	22	26	13	13	45	23	22	23	11	12
16	29	20	20	60	30	30	47	23	24	60	29	31			
17	16	11	11	29	14	15	20	8	12	30	15	15	13	6	7
18	23	18	18	49	24	25	36	18	18	55	28	27			
合計	465	259	242	606	290	316	459	217	242	566	279	287	146	68	78

\*1 対象世帯数は、県民栄養調査の調査対象世帯数

\*2 世帯数(世帯状況)は、栄養摂取状況調査の世帯状況に回答した世帯数

\*3 世帯数(食物摂取状況)は、栄養摂取状況調査の食物摂取状況調査に回答した世帯数

\*4 人数は、食物摂取状況調査に回答した人数

\*5 歩数測定、身体状況調査、血液検査は人数

\*6 血液検査の人数は、SRLの検査対象者132名に加え、血液検査結果を持参した対象者14名を追加した人数

表2-2 地区別対象数

地区番号	生活習慣調査				食習慣調査		
	世帯数*1	人数(男女計)	人数(男性)	人数(女性)	人数(男女計)	人数(男性)	人数(女性)
1	14	30	15	15	28	14	14
2	17	34	18	16	34	18	16
3	12	30	16	14	30	16	14
4	11	17	7	10	18	8	10
5	11	24	11	13	24	12	12
6	18	43	18	25	44	17	27
7	14	35	16	19	35	16	19
8	18	45	21	24	46	22	24
9	21	46	22	24	48	23	25
10	15	30	13	17	29	13	16
11	20	42	21	21	40	19	21
12	10	20	10	10	20	10	10
13	8	15	4	11	16	5	11
14	15	36	16	20	37	16	21
15	17	35	19	16	35	19	16
16	20	52	25	27	52	25	27
17	11	28	15	13	28	15	13
18	19	48	25	23	47	24	23
合計	271	610	292	318	611	292	319

\*1 生活習慣調査における世帯数

(2) 栄養摂取状況調査票（満1歳以上）

ア 世帯状況：氏名、生年月日、性別、妊婦（週数）・授乳婦別、世帯主との続柄、仕事の種類

イ 食事状況：家庭食・調理済み食・外食・給食・その他の区分

ウ 食物摂取状況：料理名、食品名、使用量、廃棄量、世帯ごとの案分比率

エ 1日の身体活動量〈歩数〉（満20歳以上）

(3) 生活習慣調査票（満15歳以上）〔アンケート調査〕

食生活、身体活動、休養（睡眠）、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を把握した。

(4) 食習慣調査票（満15歳以上）〔アンケート調査〕

食塩摂取にかかわる内容、果物摂取に関わる内容を把握した。

#### 4. 調査時期

調査時期は、平成26年10月20日から12月5日の間に対象地区ごとに設定した。

(1) 身体状況調査：調査地区の実情を考慮して、もっとも高い参加率をあげる日時（複数日設定の地区もある）

(2) 栄養摂取状況調査：日曜日及び祝祭日を除く任意の1日（複数日調査対象者については非連続の2日間）

(3) 生活習慣調査、食習慣調査：調査期間中（11月中）

#### 5. 調査員の構成

調査員は、医師、管理栄養士、保健師、臨床検査技師及び事務担当者等をもって構成した。

#### 6. 調査票の様式

(1) 身体状況調査票・・・18頁参照

(2) 栄養摂取状況調査票・・・19頁参照

(3) 生活習慣調査票・・・23頁参照

(4) 食習慣調査票・・・26頁参照

#### 7. 調査方法

調査項目のうち国民健康・栄養調査と同じ項目については、すべて国民健康・栄養調査の手技に統一して下記のとおり実施した。

(1) 身体状況調査

調査対象世帯の世帯員を対象とし、被調査者の集合に便利な場所に集めて実施した。検査方法は、国民健康・栄養調査と統一して下記のとおり。

ア 身長：靴下を脱がせ、両かかとを密接させ、背、臀部及びかかとを身長計の尺柱に接して直立させて、両上肢を体側にたれ、頭部を正位に保たせて測定した。

イ 体重：できる限り衣服を除いた状態で体重計の秤台の真中に特に静かに乗らせて測定し、測定数値から衣服分を差し引いた。

ウ 腹囲：立位でへその高さで計測した。その際、被調査者には両足をそろえ、両腕はからだの横に自然に下げてもらい、腹壁に力が入らないようにした。なお、できるだけ飲食直後の測定を避けるようにした。

測定者は、被調査者の正面に立ち、巻き尺（合成樹脂製 JIS 規格のもので、伸縮による目盛りの狂いの少ないもの）を腹部に直接あてた。巻き尺が水平面できちんと巻かれているかを確認し、普通の呼吸で呼気の終わりに 0.5 cm までの単位で目盛りを読みとった。

エ 血圧：測定機器・・・リバロッチ水銀血圧計を使用した。マンシユットは JIS 規格のものを使用した。血圧測定手順・・・血圧は、下記の手順で測定した。

#### ①血圧測定の場合

- ・ 測定前の運動、食事、たばこ、寒冷暴露など血圧測定値に影響があると考えられる条件を避けるようにした。
- ・ あらかじめ排尿させ、測定前 5 分以上の心身の安静をとった後に測定した。
- ・ 体位は、椅子の座位とした。
- ・ 測定部位は右腕の上腕とした。右腕での測定が不可能なものについては左腕で測定した。
- ・ 上腕を緊縛する衣服を着ている場合は脱衣の上、マンシユットを巻いた。

#### ②血圧測定（1 回目）の手順

- ・ 水銀血圧計を垂直に置く
- ・ マンシユットの中の空気を完全に抜き、上腕部の上腕動脈を覆うようにマンシユットのゴム囊を当て、巻き付けた。肘窩に膜側の聴診器を置いたとき、マンシユットが触れないようにゴム囊の位置に注意して巻いた。巻き方は、巻いた後に 1~2 本入る余裕を持たせ、マンシユットの下縁が肘窩の 2~3 cm 上になるように巻いた。
- ・ 測定の際には、肘関節を軽度進展させ、マンシユットの中心位置が被調査者の心臓と同じ高さにした。
- ・ 触診法で収縮期血圧を推測し、いったんマンシユット圧をゼロに落とした。さらに、触診法による推定血圧より 30mmHg 上 (=加圧目標値) にあげてから、聴診法で収縮期血圧及び拡張期血圧を測定した。
- ・ 加圧目標値で既にコロトコフ音が聞こえてくる場合は直ぐさま減圧し、③の手順に従った。
- ・ 水銀を落とす速度は、1 秒間に 1 目盛り (2mmHg) とした。
- ・ コロトコフ音の初めて聞こえる点を収縮期血圧値とし、消失する点を拡張期血圧値とした。拡張期血圧値が目盛りと目盛りのちょうど中間と判断される場合は最後に聞こえた後の次の目盛りの高さとする。
- ・ 目の高さは、目盛りと同じ高さにした。

- ・ 測定値の末尾の数値の読みは、目盛りに最も近い偶数値で読んだ。

### ③血圧測定（2回目）の手順

- ・ 1回目の測定後、いったん被調査者のマンシエットを外し、完全に空気を抜いた。
- ・ 1～2分経ったら再びマンシエットを巻き付け、②の手順に沿って2回目を測定した。
- ・ 2回目の測定の際には、「触診法は行わないこと」、「1回目と2回目の測定の間、被調査者に深呼吸をさせないこと」に注意した。

オ 血液検査：食事直後（30分以内）はできるだけ避け、駆血帯を使用して座位で静脈から採血した。なお、国民健康・栄養調査と同じ検査機関で行った。各血液検査項目とその検査方法は次頁参照。

### カ 問診

- ①薬の服用の有無・・・現在、医師の指示の有無にかかわらず、血圧を下げる薬、脈の乱れを治す薬、インスリン注射または血糖を下げる薬、コレステロールを下げる薬、中性脂肪（トリグリセライド）を下げる薬、貧血治療のための薬（鉄剤）を服用している者を、服用「有」とした。
- ②糖尿病の治療の有無
- ③医師等からの運動禁止の有無
- ④運動習慣・・・「現在、医師等からの運動禁止の有無」に「有」と回答した者は「運動習慣」の回答は不要。「運動習慣有り」とは、次の3項目全部に該当する者とした。
  - ・ 運動の実施頻度として、週2日以上
  - ・ 運動の実施時間として、30分以上
  - ・ 運動の実施期間として、1年以上

### (2) 栄養摂取状況調査

調査日は、日用、祝祭日以外で、冠婚葬祭その他特別に食物摂取に変化のある日を避け、被調査者世帯においてなるべく普通の摂取状態にある日に実施した。積極的協力を得るため、調査開始前に被調査者に対し調査の趣旨を十分説明した。

調査員が栄養摂取状況調査票を各世帯に配付し記入要領を十分説明したうえ、秤を用いて秤量記入させたが、使用量が少なく秤量困難なもの等については目安量をもって記入させた。

また、調査員である管理栄養士等は、調査対象世帯を直接訪問して記入状況を点検するとともに、不備な点の是正や記入の説明にあたった。

### (3) 生活習慣調査・食習慣調査

留め置き法による質問紙調査とし、調査対象世帯の世帯員で満15歳以上の者を対象に生活習慣調査票及び食習慣調査票を配付し記入させた。

血液検査方法（国民健康・栄養調査方式）

検査項目	測定方法	測定機器	試薬
血色素量（Hb）	SLS-Hb 法 （自動化法）	XE-2100	セルパックⅡ スルホライザー
ヘマトクリット	シースフローDC 方式 （自動化法）	XE-2100	セルパックⅡSE シース（Ⅱ）
赤血球数	シースフローDC 方式 （自動化法）	XE-2100	セルパックⅡSE シース（Ⅱ）
白血球数	半導体レーザーFCM 方式（自動化法）	XE-2100	ストマライザーFB（Ⅱ） ストマライザー4DS ストマライザー4DL
血小板数	シースフローDC 方式 （自動化法）	XE-2100	セルパックⅡ SE シース（Ⅱ） ストマライザーSNR レットサーチ（Ⅱ）RED
血糖値	ヘキソキナーゼ UV 法	BM9030	クイックオート・ネオ GLU-HK
ヘモグロビン A1c	LA 法 （ラテックス凝集法）	BM9030	ラピディアオート HbA1c-L
総コレステロール	コレステロール脱水素 酵素（UV）法	BM8060	T-CHO-試薬・KL「コクサイ」
HDL-コレステロール	直接法	BM8060	コレステスト N HDL
LDL-コレステロール	直接法	BM8060	コレステスト LDL
中性脂肪 （トリグリセライド）	酵素法（GK-GPO・遊離 グリセロール消去）	BM8060	ピュアオート S TG-N
総たんぱく質	ビュレット法	BM8060	クリニメイト TP 試薬
アルブミン	BCP 改良法	BM8060	ピュアオート S ALB
クレアチニン	酵素法	BM8060	ピュアオート S CRE-L
血清鉄	ニトロソ-PSAP 法	BM8060	クイックオート ネオ FE
総鉄結合能（TIBC）	ニトロソ-PSAP 法 （計算法）	BM8060	クイックオート ネオ FE クイックオート ネオ UIBC
AST（GOT）	JSCC 標準化対応法	BM8060	シカリキッド AST
ALT（GPT）	JSCC 標準化対応法	BM8060	シカリキッド ALT
γ-GT（γ-GTP）	JSCC 標準化対応法	BM8060	シカリキッドγ-GT
尿酸	酵素法 （ウリカーゼ・POD 法）	BM8060	ピュアオート S UA

## 8. 本書利用上の留意点

### (1) 栄養素等摂取量の算出

栄養素等摂取量の算出には、「日本食品標準成分表 2010 (科学技術庁資源調査会、現文部科学省資源室)」(以下、「成分表 2010」という。)を使用した。

栄養素等摂取量は、調理後(ゆで、油いため等)の成分値が成分表 2010 に収載されている食品は、これを用いた。また、その他の食品については、成分表 2010 に収載されている調理による「重量変化率」を加味して算出した。

今回の調査では、国民健康・栄養調査に合わせて、栄養素強化食品及び補助食品からの摂取については把握しなかった、また、特定保健用食品については、該当する食品群に含んでいる。

### (2) 食品群分類

食品群分類は、国民健康・栄養調査食品群別表と統一した。分類上、特に注意を要する点は下記のとおり。

#### ア 分類

- ①「ジャム」は「果実類」に分類
- ②「味噌」は「調味料・香辛料類」に分類
- ③「マヨネーズ」は「調味料・香辛料類」に分類

#### イ 重量

食品の重量は、調味を加味した数量であり、米は「めし」・「かゆ」など、「干しそば」は「ゆでそば」など、「藻類」の「乾燥わかめ」は「水戻しわかめ」など、「嗜好飲料類」の「茶葉」は「茶浸出液」などで算出。

### (3) 食事内容

国民健康・栄養調査と統一して、次の区分により集計した。

ア 家庭食：家庭で作った食事や弁当を食べた場合

イ 調理済み食：すでに調理されたものを買ってきたり、出前をとって家庭で食べた場合

ウ 外食：飲食店での食事及び家庭以外の場所で出前をとったり、市販のお弁当を買って食べるなど家庭で調理せずに、食べる場所も家庭ではない場合(食事内容は「イ 調理済み食」と同じ)。

エ 給食：①保育所・幼稚園給食、②学校給食(教職員は職場給食)、③職場給食(社員食堂を含む)

オ その他：

- ・ 菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合
- ・ 鉄剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンク剤のみの場合
- ・ 食事をしなかった場合(水のみ飲んだ場合も含む)
- ・ 調査不能

### (4) 血圧の分類

国民健康・栄養調査と統一し、「日本高血圧学会(2009年)による血圧の分類」を



用いた。

	収縮期血圧（最高血圧）（mmHg）	拡張期血圧（最低血圧）（mmHg）
至適血圧	< 120	かつ < 80
正常血圧	< 130	かつ < 85
正常高値血圧	130～139	または 85～89
I 度高血圧	140～159	または 90～99
II 度高血圧	160～179	または 100～109
III 度高血圧	≥ 180	または ≥ 110
収縮期高血圧	≥ 140	かつ < 90

結果図表中の数値は、2 回の測定値の平均値。

(5) 肥満の判定

国民健康・栄養調査と統一して下記のとおり判定した。

15 歳以上は BMI (Body Mass Index, BMI=体重 kg / (身長 m)<sup>2</sup>) を用いて判定した。男女とも BMI=22 を標準とし、肥満の判定基準は下記のとおり。

判定	低体重（やせ）	普通	肥満
BMI	18.5 未満	18.5 以上 25.0 未満	25.0 以上

(「日本肥満学会 (2011 年) による肥満の判定基準」より)

6～14 歳における肥満度は、年齢別、身長別標準体重から学校保健統計調査方式により判定した。

判定	やせ傾向		普通	肥満傾向		
	-20%以下			20%以上		
	高度やせ	軽度やせ		軽度肥満	中等度肥満	高度肥満
肥満度	-30%以下	-30%超-20%以下	-20%超~+20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上

$$\text{肥満度 (過体重度)} = (\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}) / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

$$\text{身長別標準体重 (kg)} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男子		女子	
	a	b	a	b
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091

年齢 \ 係数	男子		女子	
	a	b	a	b
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264

(6) メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑いの判定

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であることから、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定はしていない。本調査においても、国民健康・栄養調査と判定方法を統一した。

ア **メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者**

腹囲が男性 85 cm、女性 90 cm 以上で、3 つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち 2 つ以上の項目に該当する者。

イ **メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者**

腹囲が男性 85 cm、女性 90 cm 以上で、3 つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち 1 つに該当する者。

腹囲	腹囲（ウエスト周囲径） 男性:85 cm以上 女性：90 cm以上		
項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	HDL コレステロール値 40mg/dL 未満	・収縮期血圧値 130mmHg ・拡張期血圧値 85mmHg	ヘモグロビン A1c (NGSP) 値 6.0%以上
服薬	・コレステロールを下げる薬服用 ・中性脂肪（トリグリセライド）を下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖を下げる薬服用 ・インスリン注射使用

(7) 「糖尿病が強く疑われる者」の判定

ヘモグロビン A1c の測定値があり、身体状況調査票（6）（c）及び（7）に回答した者のうち、ヘモグロビン A1c (NGSP) 値が 6.5%以上、または、身体状況調査（7）現在、糖尿病治療の有無に「1 有」と回答した者

9. 集計分析方法

性・年齢階級別に集計した。年齢階級は、国民健康・栄養調査に準じ、1～6 歳、7～14 歳、15～19 歳、20～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上の 9 区分とした。

(1) 栄養素等摂取量の算出

栄養素等摂取量の算出には、国民健康・栄養調査方式業務支援システム「食事し  
らべ 2014」(独立行政法人国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム 国民健康・  
栄養プロジェクト)を使用した。

(2) 記述統計

平均値、標準偏差、標準誤差、パーセンタイルの算出は、保健所別に抽出率の逆  
数で重みづけ(保健所圏域ごとの標本数の偏りを調整)をして算出した。また、県  
全体の推定値を得るためには上記に加えて平成 26 年の山梨県の人口構成に調整し  
た。これらの計算には「地域健康・栄養調査集計用ソフト ver1.52」\*1を使用した。

(3) 栄養素等の習慣的摂取量の分布

2 日間調査の結果を用いた栄養素等の習慣的摂取量の分布推定には、「食事調査に  
よる習慣的摂取量の分布推定プログラム ver1.3」\*2を使用した。

\*1 開発 国立保健医療科学院 横山徹爾

「地域健康・栄養調査集計用ソフト ver1.52」(2011 年 11 月)

<http://www.niph.go.jp/soshiki/jinzai/download/eiyocalc/setsumei.pdf>

\*2 開発 国立保健医療科学院 横山徹爾

「食事調査による習慣的摂取量の分布推定プログラム ver1.3」(2013 年 8 月)

<http://www.niph.go.jp/soshiki/gijutsu/download/habitdist/setsumei.pdf>

なお、1 日の食事が 500kcal 以下の者(500kcal 以下の 7 人、うち 1 人は 2 日目の  
み)は、データ集計からは除外した。

## 10. その他

本報告書に掲載していない集計結果の表及び単純集計結果については、山梨県ホーム  
ページに掲載する。